

議会だより



「新たな気持ちで前へ」

瀬見温泉「ゆめみの宿 観松館」で4月1日に入社式が行われ、新しく入社された2人に意気込みを聞きました。
高橋 理央さん(写真右)「持ち前の明るさでめげずに頑張ります。」
伊東 莉央さん(写真左)「お客様に親しみやすいと思ってもらえるように努力します。」
裏表紙の「私の想い」では、代表取締役の高橋さんから昨年7月の豪雨災害からの復旧と今後についてお聞きしました。



3月 定例会

CONTENTS ◎ 目次

- 02. ピックアップ議案審議
「豪雪で除雪費は2億7000万円に」 ほか
- 04. 「過去最大の予算案を可決」 令和7年度 新年度予算概要
- 05. 235回の質問や提言！ 予算特別委員会
- 08. 町政を問う 5議員が一般質問
- 11. 最上広域市町村圏事務組合 新年度予算概要

【編集後記】

この度、第30回山形県町村議会広報コンクールにおいて、あなたとつながる最上町議会だよりNo.185号(2024年7月11日発行)が入選(審査員3人の評価平均で84.3点)を頂き、県内で1番になりました。講評では、「紙面の余白や文字の大きさなどのバランスが良く、読み手にとって圧迫感のない読みやすいページになっている」などがありました。中でも1番嬉しく思ったのは、「唯一、作り手が広報誌の作成を楽しんでいるような印象を受けた。」という言葉でした。まだまだ、改善する余地は多くありますが、町民の方に読んでもらうためにどうすればいいのかを第一に考えながら、これからも広報委員会一同楽しみながら議会だよりを創っていききたいと思います！

(宮本 浩)

広報編集委員会

委員長	宮本 浩
副委員長	菅 孝
委員	栗林 浩子
委員	佐藤 正市
委員	須貝 康幸
委員	山崎 香菜子



これからも町民の皆様に愛される宿でありたい



ゆめみの宿 観松館
代表取締役
たかはし ゆう
高橋 裕 さん

先代の社長から業務を引き継ぎ2年経った昨年、3か月かけて大浴場を大幅にリフォームした直後の7月下旬、あの豪雨災害に遭いました。

当時のニュース映像を見ると復旧に向けて力強く前向きに進む決意を示しながらも、落胆の色を隠しきれない自分の姿がありました。

8月の猛暑の中、スタッフ全員で泥かき作業を行い、館内の清掃作業、設備修繕を行った後一人も欠けることなく11月に営業再開を迎えることができました。

再建へ向けてのクラウドファンディングには多くのご支援を頂き、心温まる激励のメッセージにはスタッフ一同どれほど勇気づけられたか計り知れません。観松館にお心を寄せていただいた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも長い間変わらず受け継がれてきた日々の積み重ねとおもてなしの心を忘れず、何より町民の皆様に愛される宿でありたいと思っています。



議会の主な動き

1月8日(水)

新春賀詞交歓会

東京大学名誉教授・一般社団法人まちの魅力づくり研究室 理事 堀 繁 氏を講師に迎え、【景観まちづくりの勘どころ～人が来てお金が落ちるにはどうしたらよいか～】と題して基調講演が行われました。

2月3日(月)

農業振興協議会総会

令和6年度の米需給調整の実績、経営所得安定対策等の交付金交付状況についての報告、令和7年度からの米需給調整の取組みに向けての説明がありました。

3月24日(月)

議会タブレット研修

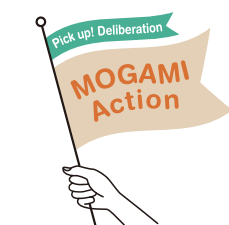
議会タブレット導入に向けて、前回の舟形町議会での研修に続き、今回は県議会、金山町議会を導入している端末を使い研修を行いました。



3月定例会
議会インターネット配信

傍聴者数
視聴回数

21名
2762回



2025 No.188
最上町議会だより

発行 / 最上町議会広報編集委員会
最上町役場 / 山形県最上郡最上町大字向町644



議会傍聴のご案内

次回の定例会は
6月 定例会 です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

デザイン印刷 / 合同会社 クロスプランニング

- 令和7年 -
3月定例会審議案

■ 専決処分 …… 1件
・ 令和6年度一般会計補正予算（第8号）

■ 条例の設定 … 2件
・ 町長等の給料の例に関する条例
・ 刑法等の一部を改正する法律に施行に伴う関係条例の整備に関する条例

■ 条例の改正 … 5件
・ 最上町木質バイオマスエネルギー地域熱供給条例 ほか

■ 計画の策定 … 1件
・ 堺田辺地に係る総合整備計画

■ 令和6年度
一般会計・特別会計補正予算
…………… 7件

■ 令和7年度
一般会計予算・特別会計予算
…………… 8件

■ 発議 …… 2件
・ 最上町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例
・ 国による学校給食の無料化を求める意見書の提出

計27議案

全会一致で
原案どおり可決

Pick up!
職員の不祥事を受けて町長・副町長の給与減額
給与月額から町長30%副町長15%を3ヶ月間減額へ

問 再発防止に向けた取り組みは。

答 抑止の点から防犯カメラを設置し、全職員には新たな行動指針を配布しています。内容は職員の心得から具体的な再発防止マニュアルも備えたのですが、配布するだけでなく課内での勉強会や研修会も通じながら、これを遵守していくことも進めています。そのほかにも、課独自の防止マニュアルも用意し複層的な対策で再発防止に向けて取り組んでまいります。

問 昨年町長の給与減額という事がありましたが、町長の受け止めは。

Pick up!
赤倉温泉スキー場今シーズンの状況

問 現在までの入込状況と台湾を始めとしたインバウンドの方が増えている状況を踏まえて、今後の取り組みは。

答 この度は大変、申し訳なく思っております。こういった事を絶対に起こさない様に職員間のレベルアップも含めて、現在進めさせて頂いております。町民の方に信頼を持っていただく、まちづくりに全力で取り組んでまいります。

答 今年2月末時点でのスキー場の入込状況は、通常営業をしていた令和3年と比べると70%となっており、収入としては85%にとどまっています。



外国の方が今年は多く訪れた赤倉温泉スキー場



Pick up!
物価高騰対応プレミアム商品券

問 新たに物価高騰対応でのプレミアム商品券事業があるが内容は。

答 令和7年度もこれまで実施していた方法で事業を進めたいと考えております。内容も1万円で1万4000円分の商品券を購入できるもので1人2冊までと、これまでと同様です。5月に5000冊の販売を考えています。



3月
定例会

【会期】
3月4日(火)～11日(火)

Pick up!
議案審議

豪雪で除雪費は2億7000万円に

問 今回の補正予算で最も増えている除雪対策費の内容は。

答 今季の度重なる警報級の寒波による、除雪・排雪においては、特に2月はフル稼働の状況にありました。強烈な寒波が長く居座るといった異常気象が二度にわたって発生し、除雪と排雪を同じ日に稼働しなければならぬという日も多くありました。このため、除雪委託費と排雪費用については議案提出の前日まで委託業者に稼働時間の聴き取りをして精査した結果、9200万円の増額補正となり、除雪経費は約2億7000万円となりました。

問 除雪オペレーターの人数が限られた中で昼夜を問わず業務を行っていますが無理のない勤務体制になっているのか。

答 除雪オペレーターの仕事は、道路交通の確保という町民の生活と命に係わる重要な業務です。しかし、オペレーターの方々の高齢化が進んでおりますので、安全に業務が出来る勤務体制に配慮しながら全力で豪雪対応を行ってまいりました。

Pick up!
若者定住環境モデルタウン使用料金見直し

問 4月から地域熱供給使用料金を見直すという事だが、住民への説明は。

答 この度、エネルギー価格や物価高騰により、使用料金の値上げをお願いするものです。住民の方には事情を説明させて頂いたいただき、納得してもらいました。

問 値上げの具体的な積算根拠は。



町民の生活を守る除排雪

問 現在、居住されている方へ、購入動機や住み心地などのアンケートを実施して、次の事業展開に生かしてはどうか。

答 若者定住環境モデルタウンの今後の在り方、さらなる充実した住宅政策のために、住民の皆様からアンケートを取っていきたいと思います。

問 使用量や維持経費の増加が原因となっており、収支のバランスが2割ほど悪化する見込みです。例えば、当初想定していた灯油価格も1リットルあたり100円だったものが、120円から130円になっている状況なども加味して積算しています。

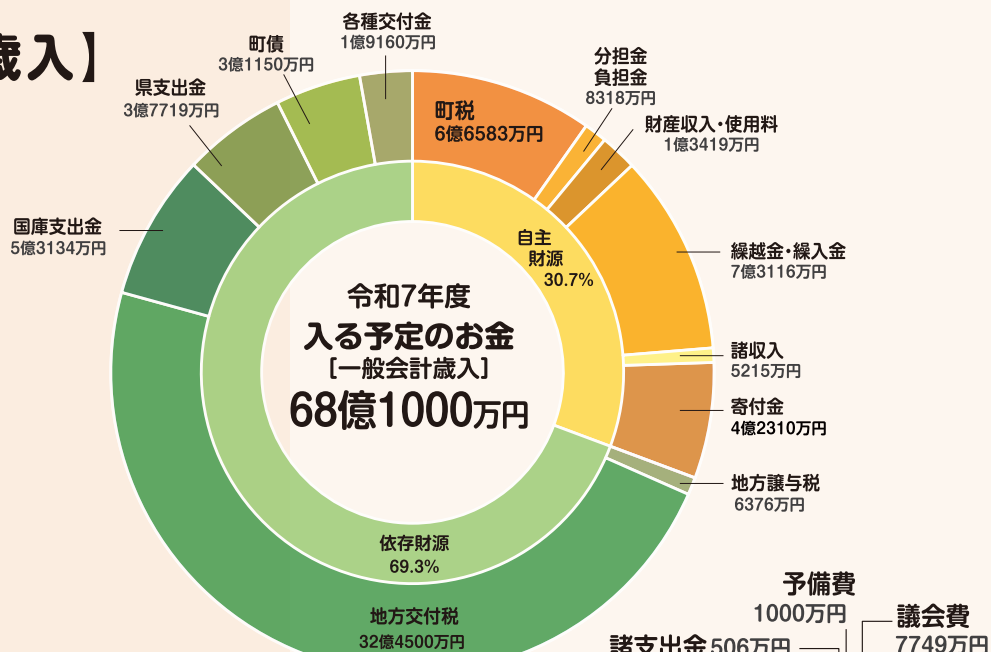


若者定住環境モデルタウンのさらなる事業展開は

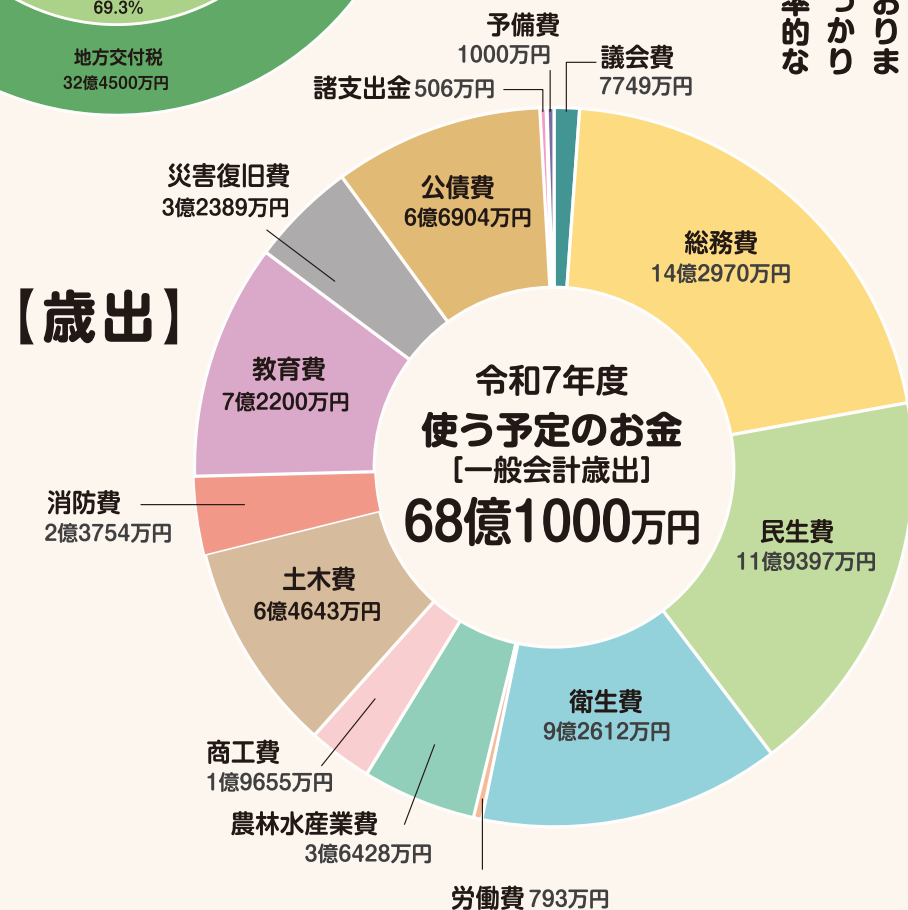
豪雨災害からの完全復旧を！ 過去最大の予算案を可決

財政が厳しい状況は続いており
すが、取り組みむべき事業はしっかりと
取り組みながら、効果的・効率的な
財政運営が求められます。

【歳入】



【歳出】



総務費

地域振興／情報政策／財産管理／ふるさと納税／地域交通／移住定住／空き家対策など

民生費

社会福祉／老人福祉／子育て支援など

農林水産業費

農業振興／林業振興／水産振興／畜産振興／有害鳥獣／新規就農など

商工費

観光振興／スキー場運営／農商工連携／赤倉ゆけむり館／道の駅など

土木費

道路橋梁管理／除雪対策／河川維持／都市計画など

教育費

教育振興／小中学校管理／社会教育／公民館／給食センターなど

令和7年度 予算 特別委員会 予算審議

委員長 宮本 浩
副委員長 佐藤 義男

財政危機の予算編成

問 財政調整基金を取崩して過去最大68億の予算となったが、どのような考えが網羅されているのか。

答 一刻も早く町民の皆さまの日常生活を取り戻していただくため、災害復旧・復興に全力を上げて取り組むための予算編成になります。

ふるさと納税

問 ふるさと納税の寄付額が伸びているが、来年度の戦略は。

答 今年度は昨今の米不足から寄付の増加につながったと考えております。現在は米が在庫切れのため募集を停止しており足踏み状態です。で、来年度は需要の高まる米を安定的に確保することが課



返礼品で人気のお米

空き家対策

問 現在の空き家の数と対策について。

答 町内の空き家数は300件に迫る勢いです。今年度の除却補助金は4棟中2棟の申請でした。新年度は補助金を80万円から100万円にまで引き上げ3棟分を計上しています。これまでは町外在住者を対象にしておりましたが、令和7年度は町内の非課税世帯等も対象とし除却補助金を交付してまいります。

空き家からの落雪や倒壊の恐れがある危険空き家が増えている。罰則を厳しくするなど対策が必要なのでは。

答 本来空き家の所有者が適切な管理を行うべきで

行政区のこれから

問 区長や民生児童委員の成り手不足が課題となっているが、現在の自治会や行政区の維持が難しくなっているのではないか。

答 行政区ができた昭和40年代からは社会情勢も変わっており、成り手不足は否めません。今後の行政区の望ましい範囲や自治機能のあり方を住民の皆さんと膝を交えながら考えていく必要があると考えています。

地域交通リ・デザイン推進事業

問 陸羽東線が代行バスとなり不便さを増す中、2月末で民間のタクシー会社が廃業したが、地域交通リ・デザイン推進事業では何を行なっていくのか。

新年度の主な事業

昨年の豪雨災害（令和6年7月25日）復旧事業 3億2389万円

① 農林水産業施設災害

2億486万円

内訳・農地 6911万円

（鶏杉・赤沢・野頭・親倉見）

・農業用施設 8596万円

（横川・月楯萱場）

・林業用施設 5979万円

（林道横川線）

② 公共土木

1億1903万円

（白川野頭線・沢内川・沢原川）

地域交通リ・デザイン推進事業

地域交通の解決に

改めて取り組む事業

273万円

最上町DX推進支援事業

DXを推進するにあたり、

計画の支援をいただく事業

540万円



答

町民の足の確保、観光客の二次交通、送迎バスの二酸化炭素を柱とし、町が抱える交通の課題に対応してまいります。講師の方にご指導いただきながら、ライドシェアなどを地域のニーズを捉えながら推進していきます。年度内には試験運行を行い、令和8年度には運用できるよう取り組んでまいります。



町営のデマンドバスにも課題が山積する

みんなの議会フテ①

ひとり暮らしのため向町へはデマンドバスを利用します。前日の予約が難しく、帰りの便まで待ち時間が長い。土日や午後便もほしい。



いのうえ ひさこ
井上 久子さん
(前森)



Pick up!

公共施設の最適化

問 公共施設最適化に向けた管理計画について、近年資金的な動きや計画が見えないが、現在の状況は。

答 個別施設計画では令和8年度に旧富沢小学校を除却する計画となっており、5千万を超える費用がかかる見込まれます。今年度は豪雨災害の復旧があり、公共施設適正管理基金の積み増しが叶っておりませんが、重要事業として適正管理基金1千万円にとどまらない積立を目指してまいります。



令和8年度に旧富沢小学校解体を予定

Pick up!

小型除雪機の補助金

問 他自治体では除雪機購入に対して補助金が支給されているが、当町で支援を考えないのか。

Pick up!

採草放牧事業

問 前森高原採草放牧事業の内容は。

答 現在オペレーター4名が常勤し、採草・乾燥・ラップサイレージ作業を行っています。販売先は、ほとんどが町内の畜産業者で、一部町外の畜産農家となります。放牧事業は、放牧地を民間農家に貸出しを行い、料金は町の歳入に計上しております。



前森高原での放牧の様子

Pick up!

田んぼダム

問 田んぼダム試験結果から、今後の町の取組みは。

答 実証実験を行った結果、降雨継続期間、7月9日の大雨では田んぼダムがある時とない時の水の抜け具合を計算したところ、ピーク時から81.3%少なく排水されま

答 近隣市町村でも補助金が支給されておりますので、財政面も考慮しながら当町でも検討してまいります。

Pick up!

地域おこし協力隊

問 今年度で3名の隊員が退任するが、新規の協力隊員の募集は考えているのか。

答 まずは、「お試し地域おこし協力隊」としまして1名募集をしています。隊員の業務内容としては、脱炭素化に向けたまちづくり推進委員として、再生可能エネルギーの分野を予定しています。

Pick up!

DXの推進

問 最上町DX推進支援業務委託料の内容は。

答 自治体DXの推進は業務の効率化や利便性、地域課題の解決にもつながります。デジタル技術の進化はめまぐるしく変化しており、推進には豊富な知識と経験が必要であることから、DX推進アドバイザーの方に月2回訪問いただき、最上町としての部分でDXを行うべきかを検討してまいります。

Pick up!

赤倉温泉スキー場の運営

問 今後、町として赤倉温泉スキー場を継続していく意思があるのか。

答 もちろん続けてまいります。スタッフの充実やコースは当スキー場の魅力です。今後は民間の指定管理も見据えて、夏場の活用も検討しながら運営を続けていきます。

問 予算計上されているキャッシュレス決済ができる券売機の導入以外にも、細やかなニーズの把握と対応を行ない、利用満足度を上げる対策は。

答 券売機は事前決済ができる電子決済ができるものを導入し、他の機能も追加できるようなものを考えています。休憩所の充実など、来シーズ



雨でも雪でも遊べる場所のさらなる充実は

Pick up!

屋内型遊戯施設の設置

問 第5次総合計画において来年度に屋内型遊戯施設の設置を目標にしているが予算に反映されていない。今後町として設置の考えは。

答 他市町村でも大型の遊戯施設が増えている現状もあり、当町で同等の施設整備は財政的な面もあり設置は厳しいと判断しました。来年度は企業版ふるさと納税を活用させていただき、屋内施設への遊具の購入を考えております。遊具は可動式の遊具（パランスボード）、ボードゲームや、知育ゲームなどを想定しています。閉校校舎の体育館や長期休暇中の体育館に設置したり、団体に貸し出すことを想定しています。

Pick up!

インバウンド需要への対策

問 インバウンドの需要が増えている状況で、雪と温泉を有する当町は観光振興のチャンスが訪れているが、戦略的に営業をかけていく必要があるのではないかと考えております。

答 今年度は、スキー場で前森高原の乗馬体験を実施しました。前森高原でのスノーモービルやバナボートの体験など、指定管理者と冬の展開を含め、スキー場と前森高原、相互の魅力を発信していきたいと考えております。

Pick up!

最上病院経営強化プラン

問 経営強化プランの進展は。

答 現在の病床数を維持しておりますが、外来及び入院利用者は減少しています。今後、県立病院や町内外の医療機関と連携しながら、軽度の急性期から慢性期まで

Pick up!

带状疱疹ワクチン

問 带状疱疹ワクチン補助金の内容について。

答 带状疱疹は、水ぼうそうにかかった後に体内に潜んでいたウイルスが再活性化することで発症する皮膚疾患です。金額的に非常に高価なワクチンのため、50%程度の補助を行うものです。



求められる病院の在り方とは

対応した病院づくりを目指してまいります。

みんなの議会

プチ②

雨の日でも遊べる屋内の公共施設が欲しい。最近遊びに行った「クラッピン寒河江」には大きな滑り台があり、親子一緒に遊べるのはとても楽しかった。

しほさき ひろゆき
柴崎 寛之さん（向町）



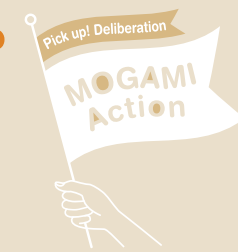
みんなの議会

プチ③

今後、最上町では地域の中で高齢者の在宅看護が増加する傾向にあり益々、訪問診療の重要性が増すと思います。地域の中に溶け込む開かれた病院であってほしいと願います。

きくかわ かずえ
菊川 和江さん（野頭）





最上のまちづくりに熱き提言

5議員が一般質問

- 発言順 1 山崎 香菜子 「役場職員のスキルアップと意識改革」
「放課後子ども教室の設置について」
- 発言順 2 須貝 康幸 「令和6年7月 豪雨災害復旧復興作業・減災対策について」
「3世代世帯・大家族世帯の推進について」
- 発言順 3 栗林 浩子 「地域交通と公共ライドシェアの取組みについて」
「町政報告会とまちづくり懇談会の開催について」
- 発言順 4 佐藤 正市 「観光PR映像三つ目の冬バージョンの進捗は」
「西公園の公衆トイレの修繕・改修の進捗は」
- 発言順 5 佐澤 浩 「今後の三企業会計事業の持続可能性は」

一般質問とは

議員の調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

問 議員質問 答 町長答弁 答 教育長答弁

※掲載している文章は抜粋したものです。詳しくは各議員のQRコードからご覧下さい

復旧工事・減災対策の計画は

町長 優先順位をつけて順次対応していきます

問 現在の復旧・復興作業の進捗状況と減災対策をどのように考えて計画を立てているのかをお伺いします。

答 道路や河川等の災害箇所は67カ所のうち58カ所は、工事が完成。残る9カ所においても年内に6カ所完成予定で残りの3カ所も順次完成させていきます。

農地・農林施設の災害復旧工事においては、降雪前約6割が復旧完了、未復旧箇所についても農家の方と確認、相談を



立小路 仏沢川上流 復旧前



立小路 仏沢川上流 復旧後

3世代世帯・大家族世帯の推進に向けた取り組みを

問 老後を心配される方々がおられます。1人暮らしになった時の、買い物や食事、除雪などの生活全般に対する不安です。核家族が増えていく一方で3世代世帯を推進する事が町では、必要だと考えますが。

答 家族の形態に関わらず、多種多様なご相談に応じながら、不安解消につながるよう、高齢者の皆さんが安心して暮らせるように努めてまいります。

動画はこちらから



質問のねらい

災害復旧の現状の状況と今後の取り組みを町民の皆様にご覧いただき、3世代家族が増える事によって町に対するメリットを提言。



すがい やすゆき 須貝 康幸議員

役場職員のスキルアップと意識改革を

町長 スキルアップ支援に向けて配慮してまいります

問 少子高齢化やDX化に対応していくため、役場全体でのスキルアップを目指すべき。やりがいと誇りを持ち、意識高く働き続けられるよう資格取得のための費用や勉強時間などの支援が必要ではないか。

答 『第二次最上町職員人材育成基本方針』を掲げ、「経営感覚を持ち自ら学び考え行動する職員」を目標とし、「自己啓発の奨励と支援」も目指すところであることから、スキルアップの経費や時間の確保・支援に向けて配慮してまいります。また使命感・倫理観は公務員の絶対条件であり、粘り強く取り組んでまいります。

放課後子ども教室の設置について

問 小学校の統廃合により児童の放課後の過ごし方に差が出ている。学童以外の選択肢として、余裕教室や、体育館・公民館を活用し、誰でも通うことができる放課後子ども教室の設置を求めたい。



ハラスメント防止研修の様子

答 放課後子ども教室事業として、向町地区の「ワイルドエドベンチャースクール」と大堀地区の「わんぱく学校」を実施しております。平日の実施については運営資金やスタッフ等の確保に課題があります。重要な事業と捉え、地域の実情に応じた事業内容を多岐から検討・検証する必要があると捉えます。

動画はこちらから



質問のねらい

2月に発生した公金横領の不祥事を背景に、より一層職員の意識改革が求められる中で、スキルや知識を増やしていくことが不祥事の防止にもつながると思われました。



やまさき かなこ 山崎 香菜子議員

早急な対応が求められる地域交通への取組みは

町長 地域交通リ・デザイン事業に新しい交通システムを構築

問 タクシー業務を終えられた事業者が替わる公共交通の取組みは。

答 国の支援を受けて「地域交通リ・デザイン事業」に取組みます。デマンド交通の利便性向上に努め、地域の関係団体、NPO法人等、町民の皆様との連携協力を主軸とし、観光分野や産業振興にも貢献できるライドシェアに取り組んでまいります。

町民との意見交換に重点をおいたまちづくり懇談会の開催は

問 1月に開催された「町政懇談会」では、町側の説明が主で意見交換の時間が短かったが、十分に町民からの声を聞く懇談会の開催はないのか。

答 町民の皆様の声をしっかりと受け止め町政に反映させることは重要な使命でありまちづくりに欠かせない部分であります。来年度は小規模な懇談会を開催し地域が抱える課題などを直接聞き、地域全体の活性化に繋げていきたいと思っております。



デマンドバスの様子

動画はこちらから



質問のねらい

タクシー事業者の業務終了に伴い、移動困難な高齢者へ早急な対応が求められており、町政懇談会では、町民の意見を積極的に聞くべきだと考えます。



くりばやし ひろこ 栗林 浩子議員

請 願

紹介議員

栗林 浩子・ 菅 孝

付託委員会

総務文教常任委員会

【 請 願 理 由 】

学校給食は、児童生徒の食習慣を養い、心身の健全な発達に資するものです。財源等の課題はありますが、義務教育の段階においては教科書と同様に無償化することが望めます。子どもの学びと成長する権利を保障することは、国や私たち社会全体の責任です。

【 請 願 内 容 】

- 1 学校給食法を改正し、国の責任において、全ての市町村で学校給食の無償化を実施できるように進めること。
- 2 国による恒久的な給食の無償化が行われるまで、学校給食費の軽減策を実施する各市町村に対して、その財政支援の拡充を図ること。

提 出 者

学校給食の早期無償化をめざす山形県民の会

代表委員 高木 紘一（山形大学名誉教授）

国による学校給食の無償化を求める 意見書の提出について



総務文教常任委員会の審査

採択

議員発議にて、意見書を関係大臣に提出しました。

最上広域市町村圏事務組合

令和7年度予算

最上広域市町村圏事務組合とは、最上8市町村で共通の行政事務を行うものです。組合議会があり定数18名（内最上町2名）ゆめりあや広域消防などの運営を審議しています。

■一般会計 55億8100万円

■最上広域ふるさと市町村圏事業
特別会計（少年少女沖縄派遣交流事業など） 1123万円

■最上町分担金 3億8534万円（昨年度比 1363万円増）

主 な 事 業

① エコプラザもがみ（可燃ごみ処理施設）高圧受配電設備更新事業

当該設備が故障するとエコプラザもがみの稼働が止まるだけでなく、最悪の場合、地域一帯が停電となる波及事故に発展する恐れがあるため更新するもの

② リサイクルプラザもがみ（不燃ごみ処理施設・最終処分場）

最終処分場残余容量調査事業 587万円

昨年の豪雨災害による大量の災害ごみが搬入、埋め立てされたことにより、計画の変更をせざるを得ず、現在の最終処分場に残り何年、埋め立て可能かの調査を専門業者に委託するもの

③ 新消防庁舎建設整備事業

2026年の完成を目指し、新消防庁舎の整備事業

9006万円



新消防庁舎建設工事現場視察

公営企業会計事業の持続可能性は

町長 会計事業の責任をしっかりと果たしてまいります

問

人口減少が急速に進む中、町の水道・下水道・病院事業は、収入が際限なく減っていくのに対して、投資に伴う費用は、大幅に増大していく時代に突入しており、一般会計繰出金も大幅に伸びております。町の水道・下水道・病院事業体が目指すべきゴールは、『持続可能性』であります。これに対処する唯一の方策は、『ダウンサイジング』しかありません。町長の考えを伺います。

答

急速に進む少子化が、自治体の行財政運営に大きく影響することは紛れもない事実と受け止めざるを得ません。令和5年度決算における一般会計繰出金は、下水道会計事業には5900万円。下水道会計事業には1億7700万円の金額にまで及んでおります。また、病院会計事業には5億8500万円。介護施設のやすらぎ会計事業には600

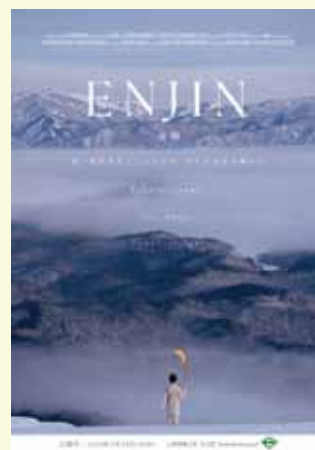


水道管などの更新費用も課題

0万円の金額となっております。人口動態にもしっかりと目を向けて『ダウンサイジング』を図りつつも、町民の皆様が安心してこの町で暮らすことができる環境に欠かせない公営企業会計事業としての責任もしっかりと果たして参りたいと考えます。

質問のねらい

自治体運営は更に厳しさを増すと考えられることから、独立採算制の公営企業会計事業（上水道・下水道・病院会計事業）の持続可能性をどの様に考えているのかを問うものです。



さとう まさいち
佐藤 正市 議員

動画はこちらから



問

過去の一般質問の振り返り確認として質問します。観光PR映像三つ目の冬バージョンの進捗は。

答

2月28日試写会を終え、配信されている『ENJIN』で、三つ目の冬バージョン観光PR映像の完成となり、二つ目の『EMMA』、二つ目のショート動画と三本の観光PR動画作成は、終了しました。

問

過去の一般質問の振り返りとして、再三繰り返し伺っております、西公園公衆トイレ修繕・改修計画はどのような進捗でしょうか。

答

令和7年度は、合併浄化槽の設置に向けて、設置の場所の再選定と調査・検討を行い、イベント開催時は、利用者に不便をきたさぬよう仮設トイレを設置します。

質問のねらい

昨年の豪雨災害や豪雪被害、更に、追打ちなり、物価高騰や燃料高騰が町民の生活を圧迫している現状を理解して、危機感のある行政運営を実施すべきと思い振り返り質問しました。



さざわ ひろし
佐澤 浩 議員

動画はこちらから

